

活動プログラム（中高生向け）



< 5領域の分野 >

| | |
|-------------|-------|
| 人間関係・社会性 | 健康・生活 |
| 言語コミュニケーション | 運動・感覚 |
| 認知・行動 | |
| 地域支援・地域連携 | |
| 家族支援 | |
| 移行支援 | |

健康・生活

- ・思春期のホルモンバランスの乱れでのイライラは誰にでもあることを知り、成長の過程だと安心感を抱く（**自尊感情・自己受容**）
- ・ストレスへの向き合い方、自分に合ったストレス対処

- ・友達と一緒にすることで、楽しみながら食への興味を高める（**偏食対応**）→健康を保つ
- ・役割分担の中で自分の出来ることを増やし自信も持つ（**自己有用感**）

- ・自己認知→自己受容→自己成長の3ステップで自己肯定感の木を育てていく
- ・手帳を活用しながら、少しずつ自己管理できる項目を増やしていく（**自尊感情・自己受容感・自己効力感・自己信頼感・自己決定感**）

運動・感覚

- ・生活の中で運動することの大切さを知り、実践する。（健康面・精神面・苦手だと感じていたことが上手くなるために必要なスキル獲得の為など）

認知・行動

- ・それぞれの特性に応じた、学習の手助けとなるグッズと一緒に探っていく
- ・WISC 検査などを利用した、一人ひとりに合った学習方法について一緒に考えていく
- ・試験前後、苦手な所や分からない所を質問して学習できる

- ・作品を展示したり、販売することを通して、達成感や**自己効力感・自己信頼感**を高める
- ・地域の方、他事業所との繋がり

- ・自分が気にしなくても、周囲は気にすることについて知ること、もっと広い社会に出た際に、周囲から求められていることや状況に応じて行動できるような支援をする

- ・様々な公共施設での活動を通して、その場に応じた適切な行動を取れるようになる（例：図書館、美術館、博物館、映画館、お店など）

Spark ART
全ての領域を含む
総合的な支援
豊かな感性と表現力

人間関係・社会性

- ・普段あまり接することのない、小さい子との関わりで、慈しむ心・思いやりの心・**自己有用感**を育む

- ・学校やしなければいけないことがある時間以外の時間（余暇時間）を、安全に過ごすことが出来るように、趣味や時間を潰せるものを増やしていく。
* 暇な時間の過ごし方として、ゲーム三昧になったり、長時間外を出歩き犯罪に巻き込まれてしまうことを予防する目的

言語・コミュニケーション

- ・小集団で行うルールが複数ある遊びを全身を使って楽しく行い、協調性や忍耐力、コミュニケーションスキルなどの向上を目指す

- ・様々な作品を通して、子どもの成長を感じると共に、子どもの得意な分野も知る
- ・きょうだい児も楽しめる

- ・高校進学に向けて、公共交通機関（バスや電車など）に1人で乗車できるよう支援
- ・時刻表の見方やタイムスケジュールの作り方も練習



- ・いろいろな仕事を見学・体験することで、自分の将来へのイメージを高めていく



* SST : ソーシャルスキルトレーニング